

大阪市立常盤小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」などの結果から、基礎的・基本的な学習内容が定着したと考えられる児童の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)
- 本校における保護者・児童のアンケート調査の結果から、高い学習意欲・学習理解を示す児童の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 学校児童アンケート調査の結果から、自己肯定感や規範意識の育成に関する肯定的回答の割合を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)
- 年度末調査で、不登校の児童の割合を前年度比で毎年減少させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査で、各学年の合計得点を、平成24年度の水準より引き上げる。 (カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 平成27年度の全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数を観点別に分析し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連)
- 昨年度の学習理解到達診断の結果から、全学年の観点別分析を実施し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の学校児童アンケートの「学校の勉強はわかりますか」の項目について、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」という肯定的に回答する割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の学校保護者アンケートの「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目について、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 本年度の学校児童アンケート調査の結果から、次の各項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にする。
 - ・自分にはよいところがありますか。
 - ・学校のきまりをまもりましたか。
 - ・友だちのよいところを見つけられましたか。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度末の校内調査で、不登校児童の数を前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査で各学年の平均得点を、大阪の平均よりも1種目以上上回る。 (カリキュラム改革関連)
- 「保健調べ」で、健康な生活習慣を昨年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の学校児童アンケートの「配膳された給食を残さず食べることができましたか。」の項目で、児童の肯定的回答の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)

大阪市立常盤小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成27年度の全国学力・学習状況調査の結果から、国語・算数を観点別に分析し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連) ○ 昨年度の学習理解到達診断の結果から、全学年の観点別分析を実施し、課題となる項目について、正答率の向上を目指す。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校児童アンケートの「学校の勉強はわかりますか」の項目について、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」肯定的に回答する割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校保護者アンケートの「子どもは授業がわかりやすいと言っている」の項目について、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【言語力の育成】 読解・記述・コミュニケーションなど多様な言語活動を実施し、言語力の育成をはかる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 言語活動の取り組みについて、家庭学習の工夫・ホップタイムの活用内容の整理をする。</p>	
<p>取組内容②【個に応じた学習指導】 国語科・算数科を中心とした習熟度別指導、少人数指導、ティームティーチング等多様な学習形態を3年生以上に行い、全児童には個別支援の充実をはかり、基礎基本を定着させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 3年生以上の児童への年間3回以上の習熟度別指導や、全児童への個別支援の充実をはかる。</p>	
<p>取組内容③【授業研究を伴う校内研修の充実】 全学年による英語の研究をはじめ、言語指導の充実や授業力向上及び初任者若年者育成等、授業研究を軸とした校内研修を充実させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 1人1回以上の授業公開をめざし、全教員が授業力向上の手応えを感じられるようにする。</p>	
<p>取組内容④【英語教材及び図書の充実】 英語学習の研究を深めるのに必要な教材を整備する。また、児童が図書室を活用しやすくなるための工夫や地域の図書館との連携を進める。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 全学年の英語指導計画の作成とそれに伴った教材の整備をする。図書室の改善と、年1回地域の図書館を活用する。</p>	
<p>取組内容⑤【家庭・地域との連携】 開かれた学校づくりに向けて、学校の公開や情報発信を積極的に行うとともに、保護者・地域参加型行事を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 年間6回の土曜授業の実施、月1回の学校だよりの発行、ホームページの更新を適宜行う。</p>	

大阪市立常盤小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○ 本年度の学校児童アンケート調査の結果から、次の各項目について、「当てはまる（どちらかと言えば、当てはまる）」という肯定的回答の割合を全体の90%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にはよいところがありますか。 ・学校のきまりをまもりましたか。 ・友だちのよいところを見つけられましたか。 (カリキュラム改革関連) <p>○ 本年度末の校内調査で、不登校児童の数を前年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育の推進】 児童が自分自身や自分の生活と関連させて、考えたり理解を深めたりできる授業を、副読本を活用して実施する。</p>	
<p>指標 年間35時間以上の授業時数の確保</p>	
<p>取組内容②【道徳教育の推進】 「あいさつ運動」を実施し、自らすすんで元気にあいさつができるように指導する。</p>	
<p>指標 (カリキュラム改革関連) 学期に1回あいさつ週間を実施し、チェックカードで振り返る。</p>	
<p>取組内容③【安全教育及び安全管理】 児童の安全を守るため、防犯・防災指導や避難訓練・引き渡し訓練等を実施するとともに、本校分校の完全施錠・受付対応を定着させる。</p>	
<p>指標 (カリキュラム改革関連) 学期1回以上の防犯・防災指導及び避難訓練</p>	
<p>取組内容④【安全教育及び安全管理】 養護教諭と生活指導担当者との連携を密にし、適切な指導を行う中で、運動場をはじめ、教室・廊下・階段でのけがを減少させる。</p>	
<p>指標 (カリキュラム改革関連) 月々の保健室における来室児童のデータを分析し、その都度の対策</p>	
<p>取組内容⑤【人権教育】 人権尊重の教育をふまえ、自尊感情を高め、自他の違いを認め合える関係を築けるような児童の育成に努める。</p>	
<p>指標 年間10時間以上の授業を各教科に位置づけて実施</p>	
<p>取組内容⑥【特別支援教育】 保護者や担任、担当者間の連携を密にしながら、個別の教育支援・指導や学級集団の育成を両輪に児童の支援に努める。</p>	
<p>指標 日常的な保護者との連携に努め、学期に1回以上の保護者や担当者との連携会議</p>	
<p>取組内容⑦【家庭・地域との連携】 児童の生活習慣の改善について一体となって取り組むため、生活指導便りを発行し保護者・地域から意見を募り交流する。とりわけ、遅刻や不登校については連携の下で重点的に取り組む。</p>	
<p>指標 (カリキュラム改革関連) 生活指導便り月1回発行。遅刻の実態把握や、不登校数の減少。</p>	

大阪市立常盤小学校 平成27年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査で各学年の平均得点を、大阪の平均よりも1種目以上上回る。 (カリキュラム改革関連) ○ 「保健調べ」で、健康な生活習慣を昨年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連) ○ 本年度の学校児童アンケートの「配膳された給食を残さず食べることができましたか。」の項目で、児童の肯定的回答の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連) 	

年度目標の達成に向けた取り組み内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【体育的活動の充実】 パワーアップタイムを設定して毎日運動に取り組めるようにし、冬場にはなわとびやかけ足などを取り入れ、体力向上への意識を高める。</p>	
<p>指標 パワーアップタイムとして時間確保し、実施する。</p>	
<p>取組内容②【食育】 栄養教諭による指導をはじめ、食育の指導計画を見直して、教科と関連づけて食育に関する指導を目指す。</p>	
<p>指標 栄養指導を年間2回（2年=3回）実施</p>	
<p>取組内容③【健康な生活習慣】 つめを短く整えること、石けんでの正しい手洗い、ハンカチ・はな紙の携行などを呼びかけ、ケガや疾病を予防する意識を高める。</p>	
<p>指標 強調週間として「保健調べ」を行い、保健委員会も加わり啓発を進める</p>	
<p>取組内容④【環境美化】 児童がすすんで校内の美化に取り組む態度を養うため、掲示物の作成やそうじの仕方の指導に努める。</p>	
<p>指標 月1回の全校クリーンデー、年間1回のPTAふれあいクリーンデーを実施し、環境美化委員会も加わり啓発を進める</p>	
<p>取組内容⑤【教職員・家庭・地域との連携】 保健だより・給食だより・食すこやか通信を発行し、健康について地域や保護者とともに考えていく。特に、「熱中症・伝染性の疾病・食物アレルギー」に関しては、呼びかけを継続していく。</p>	
<p>指標 月1回の各たよりの発行</p>	